



## 底堅い米国ハイ・イールド債券市場

### ポイント



1. 米国ハイ・イールド債券の発行企業の業績は堅調
2. 米中貿易摩擦の影響が軽微な米国ハイ・イールド債券市場
3. 金利上昇リスク低下で、投資魅力高まるBB-B格債券

## 1. 米国ハイ・イールド債券の発行企業の業績は堅調

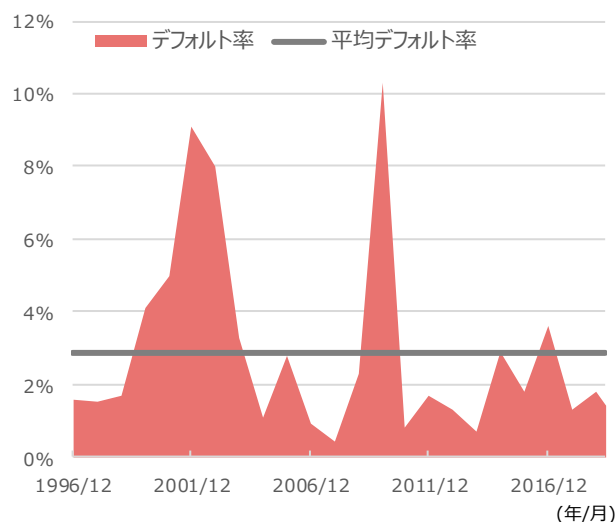
### デフォルト率は安定的に推移

5月以降、米中貿易摩擦の懸念などから債券市場の値動きが大きくなりましたが、当ファンドでは650銘柄以上に分散投資を行なっていることでリスクが分散され、安定したリターンとなりました。

なお、米国経済自体は底堅く、労働市場のタイト化に伴い、米国経済の約7割を占める個人消費が堅調に推移すると見られています。このような状況の中、米国ハイ・イールド債券の発行企業の業績が堅調なことから、デフォルト率は5月末現在で1.4%と低水準となっており、今後の安定したリターンに寄与すると見られます。

当ファンドの実質的な運用を担当するノムラ・コーポレート・リサーチ・アンド・アセット・マネージメント・インク（NCRAM社）では、今後1年間の米国ハイ・イールド債券市場のトータルリターンは現状の利回り水準をやや上回る水準になると予想しています。また、米国ハイ・イールド債券市場のスプレッド（上乘せ金利）は、今後1年間においては現状の4%程度を維持すると考えています。

### 米国ハイ・イールド債券のデフォルト率の推移



期間：1996年～2019年、年次

各年は12月末、2019年は5月末

デフォルトとは、債券の利払いおよび元本返済の不履行、もしくは遅延などをいいます。デフォルト率は過去12か月間のデフォルト銘柄の発行残高を基に算出されています。

（出所）JPモルガンのデータより野村アセットマネジメント作成

<当資料で使用した指数の著作権等について>

「ICE BofAML Current 10-Year US Treasury Index SM/®」、  
「ICE BofAML US Cash Pay High Yield Constrained Index SM/®」は、ICE Data Indices, LLCまたはその関連会社の登録商標です。

———上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

## 2. 米中貿易摩擦の影響が軽微な米国ハイ・イールド債券市場

### 米中貿易摩擦は大統領選挙前に終結か

5月10日、米国は中国からの2,000億米ドル相当の輸入品に対する追加関税を10%から25%に引き上げました。2018年から貿易交渉に関する米中の制裁・報復関税が継続しており、米国の消費者物価に影響を及ぼすと想定されているものの、これまでの影響は軽微にとどまっています。

なお、残り約3,000億米ドル相当の中国からの輸入品に対する第4弾の関税引き上げについては、NCRAM社では30%程度の確率で起こり得ると推定しています。

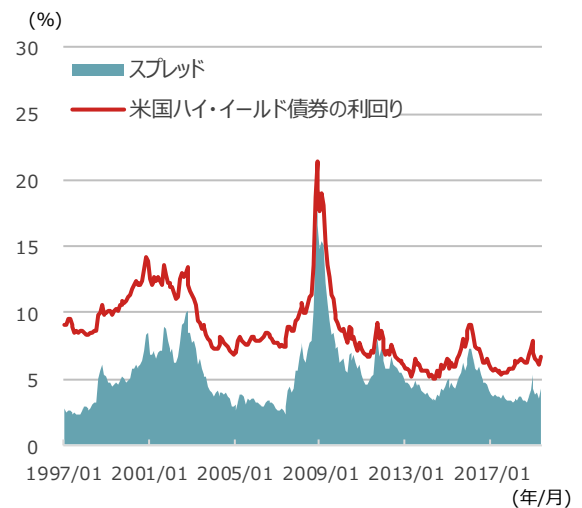
今後も変動性の高い市場環境は一定期間続くことが予想されますが、2020年の大統領選挙が本格化する前に、トランプ政権は中国との貿易交渉を終決させると見えています。

### 内需企業が半数以上のため影響は軽微

第4弾の関税引き上げが実施される場合、米国のGDP（国内総生産）は、2019年末までに0.4%程度押し下がる可能性があると考えています。NCRAM社は今後1年間の米国ハイ・イールド債券市場の利回りは6.5%～7.0%程度で推移すると予想していますが、第4弾の関税引き上げが起これば利回りは7.0%～8.0%程度に引き上がると見えています。

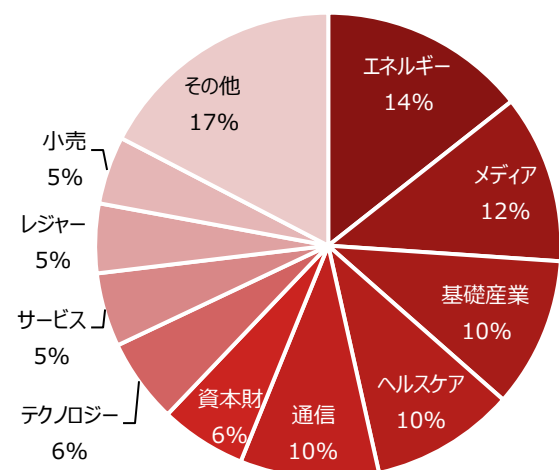
債券価格は影響を受けると見られるものの、米国ハイ・イールド債券を発行している企業の半数以上が米国の内需企業であることから、その影響は軽微であると見られます。安定的で高い利回りが引き続きパフォーマンスに貢献すると見えています。

### 米国ハイ・イールド債券の利回りとスプレッドの推移



期間：1997年1月末～2019年5月末、月次  
 スプレッド＝米国ハイ・イールド債券の利回り－米国10年国債の利回り  
 米国10年国債：ICE BofAML Current 10-Year US Treasury Index  
 米国ハイ・イールド債券：ICE BofAML US Cash Pay High Yield Constrained Index  
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

### 米国ハイ・イールド債券のセクター比率



2019年5月末時点  
 （出所）ICE BofAMLより野村アセットマネジメント作成

———上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。———

\* 後述の【投資リスク】【当資料について】および【お申込みの際のご留意事項】を必ずご覧ください。

野村アセットマネジメント

### 3. 金利上昇リスク低下で、投資魅力高まるBB-B格債券

#### BB-B格債券にポジティブな環境到来

3月19-20日のFOMC（米連邦公開市場委員会）において、FRB（米連邦準備制度理事会）は、政策金利の据え置きを決定し、年内の利上げ回数予想をゼロに引き下げました。

金利上昇局面においては、金利感応度が低いCCC格以下の債券がBB-B格に対して相対的にリターンが上回る傾向がありましたが、年内に利上げが実施されない場合、今後BB-B格への投資魅力は上昇していくと言えます。

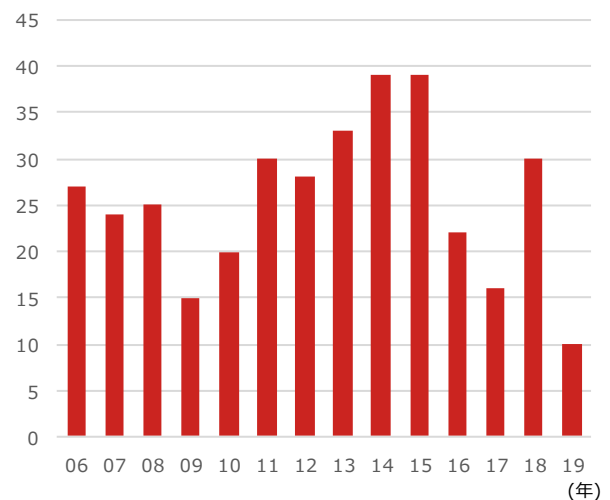
#### ライジング・スター（希望の星）銘柄の発掘

ハイ・イールド債券市場には、投資適格格付へ格上げされ、ハイ・イールド債券市場から退出していく銘柄（ライジング・スター）が存在します。

カナダ資源大手のテック・リソース社は、資源価格の下落に伴う業績悪化への懸念から2015年に格下げとなり、ハイ・イールド債券となりました。しかし、2016年以降の資源価格回復と業績改善などから、2019年には再び投資適格格付となりました。NCRAM社は、このように強い企業でありながら割安となった銘柄への投資も行ないました。

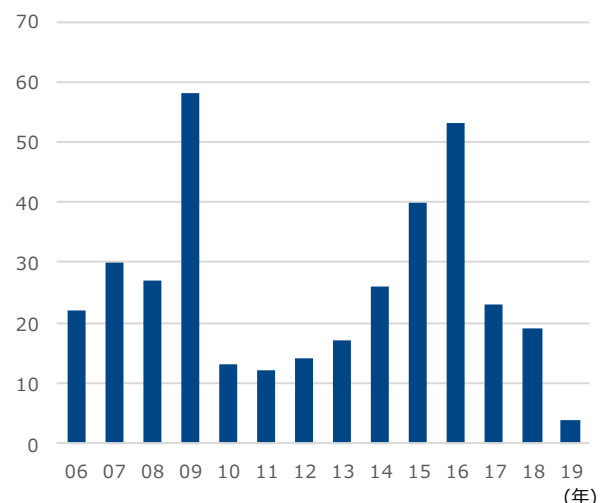
ライジング・スターが存在する一方、信用力の低下により投資適格格付からハイ・イールド債券に格下げされる銘柄（フォーリン・エンジェル）も一定程度存在します。現状の経済環境では、債券の格下げが相次ぐ状況は想定していないものの、世界経済成長の減速を背景に、フォーリン・エンジェルが発生するとみられることから、このような銘柄への調査分析も行ない、投資機会を狙います。

#### ライジング・スター発行体数の推移



(出所) JPMorganのデータより野村アセットマネジメント作成

#### フォーリン・エンジェル発行体数の推移



(出所) JPMorganのデータより野村アセットマネジメント作成

記載されている個別の銘柄については、参考情報を提供することを目的としており、特定銘柄の売買などの推奨、また価格の上昇や下落を示唆するものではありません。上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」

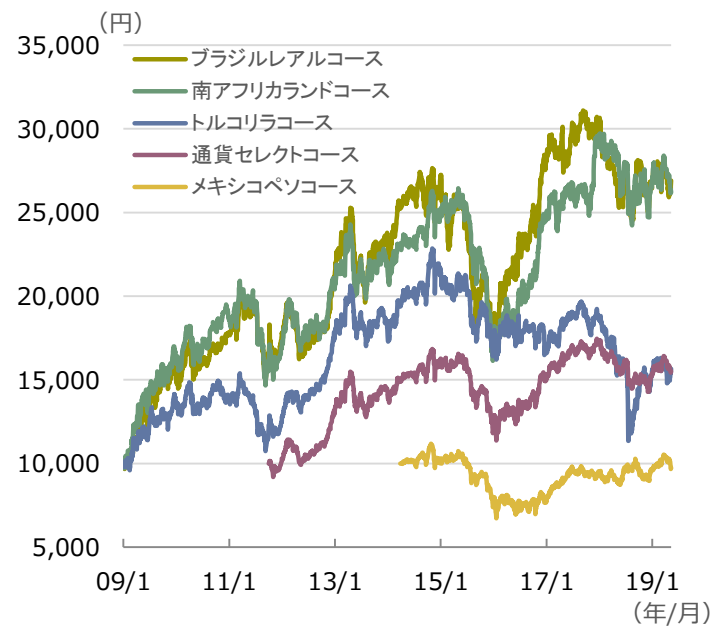
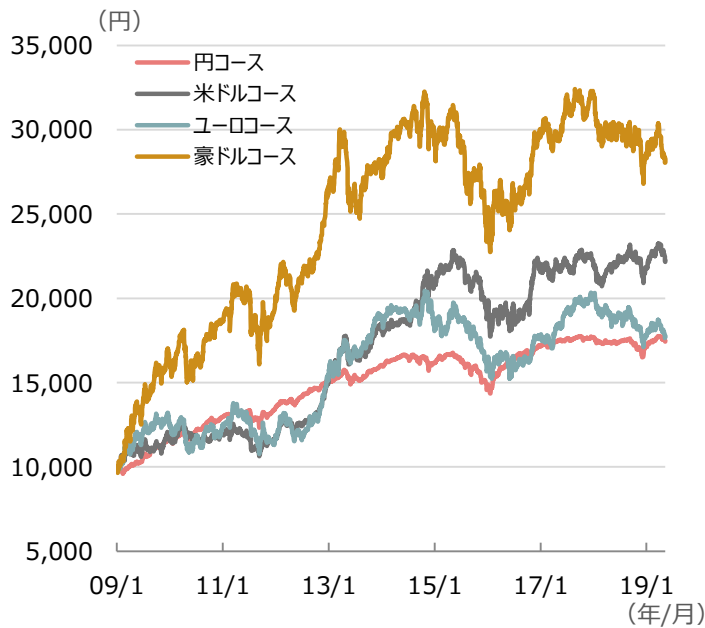
## ファンドの運用状況

期間：2009年1月28日（設定日）～2019年6月6日、日次

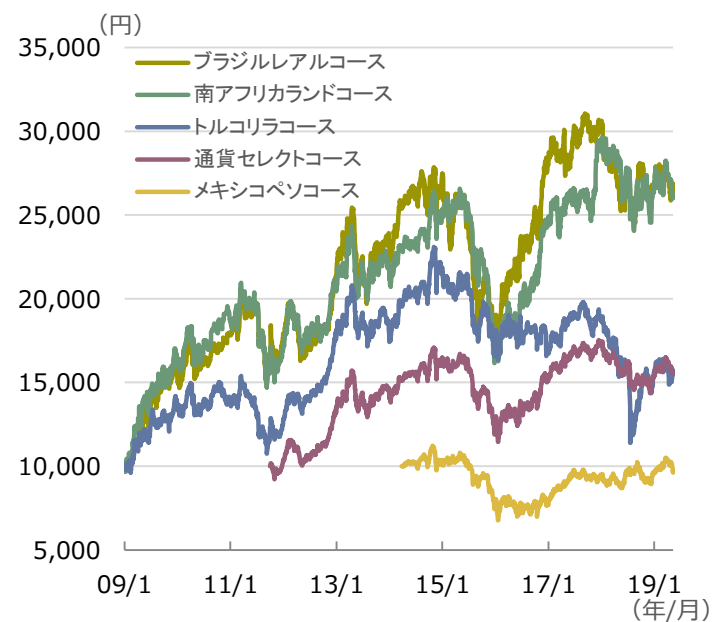
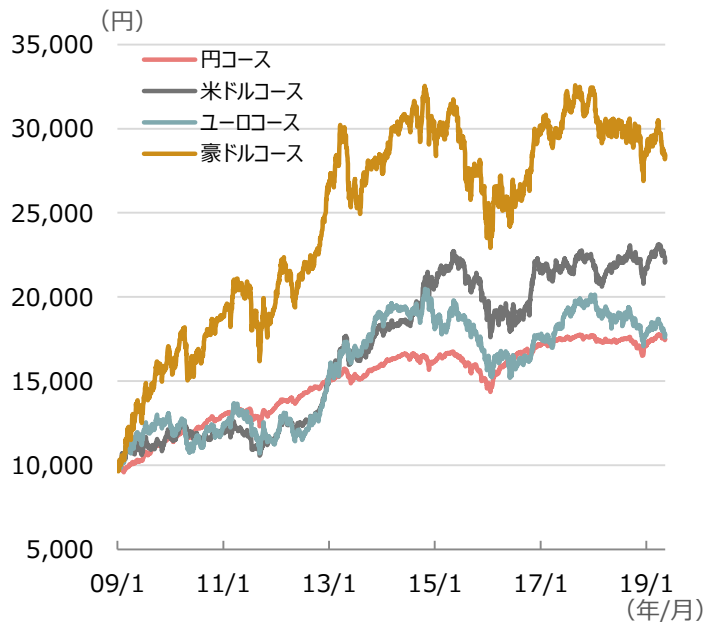
\*「通貨セレクトコース」の設定日は2011年10月27日、「メキシコベソコース」の設定日は2014年4月22日

## ファンドの基準価額（分配金再投資）の推移

## ● 毎月分配型



## ● 年2回決算型\*



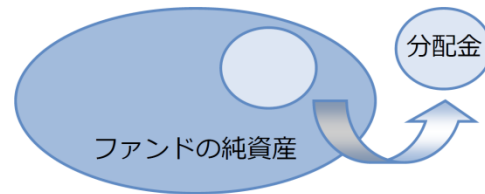
※「マネーボールファンド」を除きます。

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

——— 上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。 ———

## 分配金に関する留意点

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



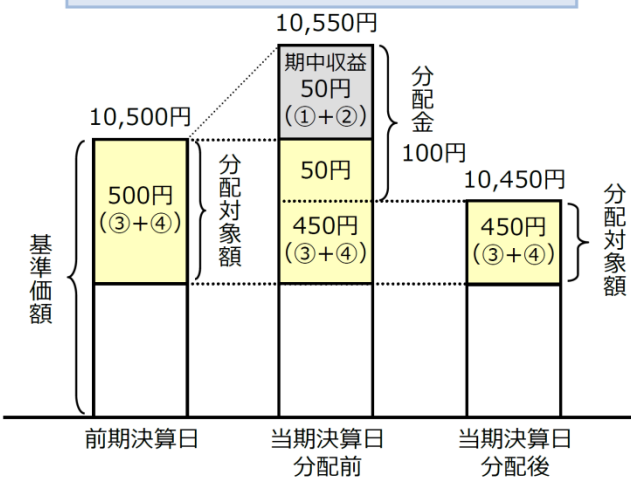
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

- ・ 計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

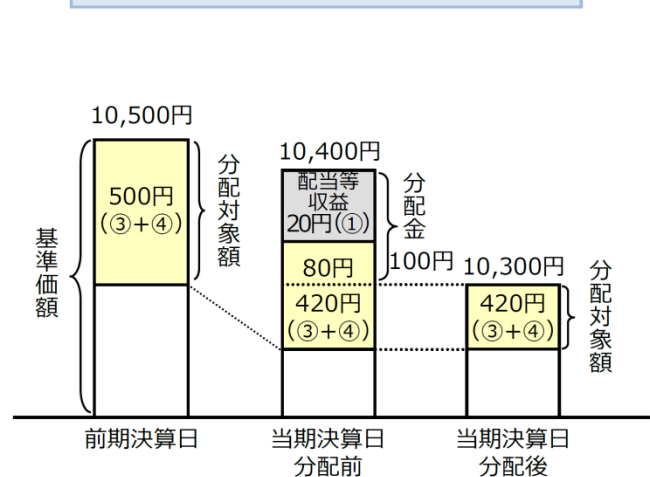
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合

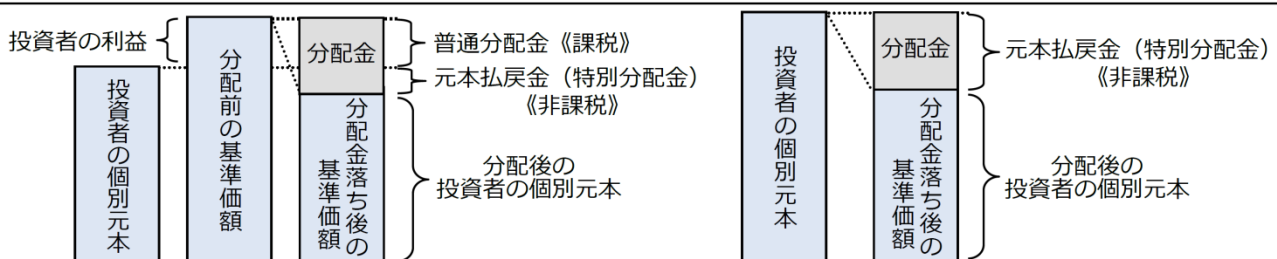


前期決算から基準価額が下落した場合



- 投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

- ◇ 普通分配金 …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。
- ◇ 元本払戻金（特別分配金） …… 分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、その下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となります。



※ 投資者が元本払戻金（特別分配金）を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。

(注) 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

## 「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」

## 【ファンドの特色】

- 「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」は、19本のファンド（「毎月分配型」と「年2回決算型」を有する、為替取引手法の異なる9つのコース（円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、ブラジルリアルコース、南アフリカランドコース、トルコリラコース、通貨セレクトコース、メキシコペソコース）およびマネープールファンド（年2回決算型））から構成されています。
- 各コース（マネープールファンドを除く9つのコースを総称して「各コース」といいます。）
  - ◆高水準のインカムゲインの確保と中長期的な信託財産の成長を図ることを目的として運用を行ないます。
  - ◆米ドル建ての高利回り事業債（ハイ・イールド・ボンド）を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、外国投資信託や「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆円建ての外国投資信託「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」および国内投資信託「野村マネー マザーファンド」を投資対象とします。
    - ・「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」には、為替取引手法の異なる9つのクラスがあります。

| コース名                            | 各コースが投資対象とする外国投資信託の為替取引手法  |
|---------------------------------|--|
| 円コース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）        | 米ドル建て資産を、原則として対円で為替ヘッジを行ないます。                                    |
| 米ドルコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）      | 米ドル建て資産について、原則として対円で為替ヘッジを行ないません。                                |
| ユーロコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）      | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ユーロを買う為替取引を行ないます。                        |
| 豪ドルコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）      | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、豪ドルを買う為替取引を行ないます。                        |
| ブラジルリアルコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）  | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、ブラジルリアルを買う為替取引を行ないます。                    |
| 南アフリカランドコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型） | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、南アフリカランドを買う為替取引を行ないます。                   |
| トルコリラコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）    | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、トルコリラを買う為替取引を行ないます。                      |
| 通貨セレクトコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）   | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、選定通貨 <sup>※</sup> （米ドルを除く）を買う為替取引を行ないます。 |
| メキシコペソコース<br>（毎月分配型）／（年2回決算型）   | 米ドル建て資産について、原則として米ドルを売り、メキシコペソを買う為替取引を行ないます。                     |

※選定通貨は、投資対象とする外国投資信託の副投資顧問会社が選定した通貨を指します。  
詳細は、交付目論見書の「各コースが投資対象とする外国投資信託の概要」の投資方針をご覧ください。

- ◆通常の状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資を中心とします<sup>※</sup>が、投資比率には特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびにファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。  
※通常の状況においては、「ノムラ・ケイマン・ハイ・イールド・ファンド」への投資比率は、概ね90%以上を目処とします。
- ◆各コースはファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。
- マネープールファンド
  - ◆安定した収益の確保を図ることを目的として運用を行ないます。
  - ◆円建ての短期有価証券を実質的な主要投資対象<sup>※</sup>とします。  
※「実質的な主要投資対象」とは、「野村マネー マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
  - ◆「野村マネー マザーファンド」への投資を通じて、残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資により利息等収益の確保を図り、あわせてコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図ります。
  - ◆ファンドは「野村マネー マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
- 「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」を構成する「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間でスイッチングができます。

## ●分配の方針

## ◆毎月分配型

原則、毎月25日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で委託会社が決定するものとし、原則として利子・配当等収益等を中心に分配を行ないます。

ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。また、毎年1月および7月の決算時には、基準価額水準等を勘案し、上記分配相当額のほか、分配対象額の範囲内で委託会社が決定する額を付加して分配する場合があります。

※コースによっては、投資信託約款上「原則として、利子・配当等収益等を中心に安定分配を行なう」方針としていますが、これは、運用による収益が安定したものになることや基準価額が安定的に推移すること等を示唆するものではありません。また、基準価額の水準、運用の状況等によっては安定分配とならない場合があることにご留意下さい。

## ◆年2回決算型

## ・各コース

原則、毎年1月および7月の25日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。

分配金額は、分配対象額の範囲で、原則として利子・配当等収益等および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定するものとします。

## ・マネープールファンド

原則、毎年1月および7月の25日（休業日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。

分配金額は、原則として基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 「野村米国ハイ・イールド債券投信（通貨選択型）」

## 【投資リスク】

各ファンド（「マネープールファンド（年2回決算型）」を除く）は、投資信託証券への投資を通じて、債券等に実質的に投資する効果を有しますので、金利変動等による当該債券の価格下落や、当該債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。

「マネープールファンド（年2回決算型）」は、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。

したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

（2019年6月現在）

## 【お申込メモ】

- 信託期間 2024年1月25日まで  
※「マネープールファンド」は2019年7月25日まで
- |  |               |
|--|---------------|
| 円コース、米ドルコース、ユーロコース、豪ドルコース、<br>ブラジルレアルコース、南アフリカランドコース、<br>トルコリラコース、マネープールファンド | 2009年1月28日設定  |
| 通貨セレクトコース  | 2011年10月27日設定 |
| メキシコペソコース  | 2014年4月22日設定  |
- 決算日および収益分配 【毎月分配型】年12回の決算時（原則、毎月25日。  
休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。  
【年2回決算型】年2回の決算時（原則、1月および7月の25日。  
休業日の場合は翌営業日）に分配の方針に基づき分配します。
  - ご購入価額 ご購入申込日の翌々営業日の基準価額
  - ご購入単位 1万口以上1万口単位（当初元本1口＝1円）  
または1万円以上1円単位  
なお、マネープールファンドは、年2回決算型の他のファンドからのスイッチング以外によるご購入はできません。  
※ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
  - ご換金価額 【各コース】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額から  
信託財産留保額を差し引いた価額
  - スイッチング 【マネープールファンド】ご換金申込日の翌々営業日の基準価額  
「毎月分配型」のファンド間および「年2回決算型」のファンド間で  
スイッチングが可能です。  
※販売会社によっては、一部または全部のスイッチングのお取扱いを行わない  
場合があります。
  - お申込不可日 各コースは、販売会社の営業日であっても、申込日当日あるいは  
申込日の翌営業日が、下記のいずれかの休業日に該当する場合  
または12月24日である場合には、原則、ご購入、ご換金、  
スイッチングの各お申込みができません。  
・ニューヨーク証券取引所 ・ニューヨークの銀行  
・ロンドンの銀行 ・ルクセンブルクの銀行
  - 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時  
（スイッチングを含む）および償還時の譲渡益に対して課税され  
ます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税  
されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更  
になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 【当ファンドに係る費用】

|                                  |   |
|----------------------------------|---|
| ◆ご購入時手数料                         | ご購入価額に3.24%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に<br>定める率を乗じて得た額<br><スイッチング時><br>販売会社が独自に定める率を乗じて得た額<br>なお、「マネープールファンド」へのスイッチングの場合は無手数料<br>*詳しくは販売会社にご確認ください。  |
| ◆運用管理費用<br>（信託報酬）                | 【各コース】<br>ファンドの純資産総額に年0.9504%（税抜年0.88%）の率を<br>乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。<br>○実質的にご負担いただく信託報酬率<br>・各コース（通貨セレクトコースを除く）：年1.6504%程度（税込）<br>・「通貨セレクトコース」：年1.8004%程度 <sup>（注）</sup> （税込）<br>（注）純資産総額によっては、記載の信託報酬率を下回る場合があります。<br>*ファンドが投資対象とする外国投資信託の信託報酬を加味して、<br>投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。<br>【マネープールファンド】<br>ファンドの純資産総額に年0.594%（税抜年0.55%）以内<br>（2019年4月19日現在年0.001188%（税抜年0.0011%））の率を<br>乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 |
| ◆その他の費用<br>・手数料                  | 組入資産等の売買の際に発生する売買委託手数料、<br>監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する<br>租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。<br>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に<br>料率・上限額等を示すことができません。   |
| ◆信託財産留保額<br>（ご換金時、スイッチング<br>を含む） | 【各コース】<br>1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額<br>【マネープールファンド】<br>ありません。  |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に  
応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◆設定・運用は **野村アセットマネジメント**

商号：野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第373号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会/  
一般社団法人日本投資顧問業協会/  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先：野村アセットマネジメント株式会社

★サポートダイヤル★ 0120-753104  
（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

★インターネットホームページ★  
<http://www.nomura-am.co.jp/>

★携帯サイト★  
<http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

**【当資料について】**

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

**【お申込みに際してのご留意事項】**

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。



# 野村米国ハイ・イールド債券投信(通貨選択型)

## お申込みは

| 金融商品取引業者等の名称 |          | 登録番号            | 加入協会    |                 |                 |                    |
|--------------|----------|-----------------|---------|-----------------|-----------------|--------------------|
|              |          |                 | 日本証券業協会 | 一般社団法人日本投資顧問業協会 | 一般社団法人金融先物取引業協会 | 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 |
| ごうぎん証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 中国財務局長(金商)第43号  | ○       |                 |                 |                    |
| とうほう証券株式会社   | 金融商品取引業者 | 東北財務局長(金商)第36号  | ○       |                 |                 |                    |
| 野村証券株式会社     | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第142号 | ○       | ○               | ○               | ○                  |

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。